

阿南市立阿南第二中学校

1 学校の概要

- ① 生徒数 164人
- ② 校訓 自ら学ぶ
生徒像 めあてを持ち、いきいきと学びあう生徒
生徒目標 思いやり（あい）・学びあい・鍛えあい
(3つの「あい」の種)



- ③ 環境目標・テーマ
「限りある資源を大切に、学校と地域の連携でエコの精神を広げようよう」
 - ◆ゴミの減量やリサイクル・節電・節水に努める学校づくり
 - ◆エコの精神を、地域に呼びかける生徒づくり

2 行動方針

- ① 節電・節水に努めます。
- ② 学校におけるゴミの分別に努め、ゴミの減量化に努めます。
- ③ リサイクル用品回収活動を行い、ゴミを少なくします。
- ④ 地域に節電・節水を広げます。
- ⑤ 環境学習をします。

3 行動

- ① 節電・節水を呼びかける表示を校内中の各スイッチ・蛇口のところに貼り注意を促し、電気・水の使用量をグラフ化し、昨年と比較をする。
- ② 日常生活でのゴミの分別をすると共に、文化祭のバザーでのゴミの分別を行う。また、各教室や職員室にリサイクル用紙 Box の設置、印刷室には印刷用紙の裏紙使用 Box を設置し、ゴミの減量化に努める。
- ③ リサイクル用品回収活動を年2回、生徒とPTAが協力して、空き缶・雑誌・新聞紙・段ボール・牛乳パックの回収を行う。
給食の牛乳パックの回収やエコキャップの回収を行う。
- ④ 全校生徒から図案を募集し、節電・節水を呼びかけるステッカーの制作を行い、保護者に配布した。11月の桑野公民館祭・橘公民館祭においても各100部配布し、節電・節水を呼びかけた。



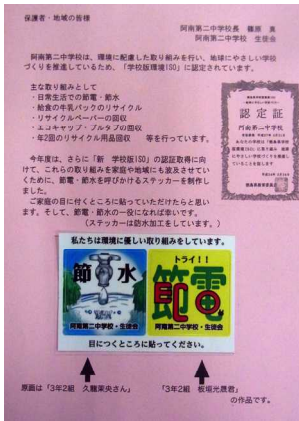
スイッチの節電表示



節水の表示



文化祭のゴミ分別活動
(保護者にも呼びかけ)



説明文にステッカーを貼付して配布



「環境ISO掲示板」電力・水道のグラフや3R活動啓発等を掲示



教室の分別用ゴミ箱



教室リサイクル用紙Box



職員室リサイクル用Box



校区内のリサイクル用品回収活動(8月・12月)



給食後牛乳パックを各自開いて乾かし、年間約500kgに

⑤ 環境学習

徳島大学大学院の近藤光男先生を講師としてお招きし、地球の温暖化による影響について、生態系への影響・北極南極の氷の溶解・海面上昇・伝染病の発生など説明していただいた。

4 具体的効果

- ◆ 省エネへの意識が高まり、過去5年間を比較すると、電気・水道の使用量が全般的に少なくなっている。
- ◆ リサイクル用品回収活動は予定通り2回行うことができ、回収量が多かった。
- ◆ 節電・節水ステッカーを配布することで、地域に呼びかけることができた。

5 改善点

- ◆ 環境委員会のもっと活発な呼びかけで、さらに電気・水道の省エネの徹底に取り組みたい。